

山行報告書

通算山行No	No154S	報告者	佐野雅道	
年月日及曜日	99年06月11日(金曜日)~99年06月13日(日曜日)			
山行名	初夏の上越(山をきれいに清掃登山)	天候	晴	
山名	鬼ヶ面山縦走 浅草岳(1586m)			
この山の ポイント	青い空、残雪、シラネアオイ、サクラソウ、春の花満開			
コース及び タイム	第1日目 裾野発 13:00 猿橋バス停14:15 八王子I/C14:45 入間I/C15:25 小出I/C18:15 音松荘19:05 (北魚沼郡入広瀬村)			
	第2日目 音松荘発6:00 針里越登山口6:40 針里越TN上7:05 電波塔7:40 南岳8:45~9:00 鬼ヶ面山9:35 北岳10:05~10:15 追悼10:40~10:45 前岳11:30 浅草岳12:00~13:10 かよ体ッ13:38 林道14:35 入広瀬村登山口16:05 音松荘16:15			
	標高差	△ 針里越登山口(750m) 浅草岳(1586m) ≒ 836m	体力度	1 2 3 ④ 5 6
		▼ 浅草岳(1586m) 音松荘(500m) ≒ 1086m	技術度	1 2 3 ④ 5 6
	走行距離	裾野~入広瀬村音松荘 380 Km	展望度	1 2 3 4 ⑤ 6
参加者	シ CL	後藤 隆徳 52	とにかく花が良かった。ネカリ州際 おしかった。鴉さん吐で済ませず 糞。	
	ラ 娘	加藤 秀子 50	せっかく背負いあげたスイカ 痛んでしまい残念。涙が出た。	
	ネ	勝又とし江 52	再びシラネアオイに逢えた。	
	ア	小田 知典 50	1500mの山とは思えない。感動!!	
	オ 譚	佐野 雅道 67	加藤さん残念でした。次の機会を待ちます。(12日譚)	
	イ 譚	来生 博子 50	のんびりゆっくり沢山の花が見れた。久しぶりに雪渓を踏んだ。	
	隊	岩井 友子 46	梅雨と言いつつ天に恵まれ、初めて見たシラネアオイに逢え!! 糞をしっかりと食べると言いつつは田が素晴らしい。	
	ミ SL	大根田元男 63	天気、花、山、全てヨシ。!!	
	ズ 譚	高岡八千代 61	今日は苦しかった。	
	者 バ 娘	池田 元治 60	故郷の山に登れて最高。(13日譚)	
	シ	後藤 歌子 55	最高の誕生日プレゼントありがとう。	
	ヨ	山本 正昭 49	ビックマウンテンだ!!	
ウ	御宿 さよ 54	花もよし、展望もよし、素晴らしい山でした。		
隊	土屋 弥生 56	思いがけずに希望の山へ登れ大満足。花の多さにもびっくり。		
第一日目(6/11)				
この時期、天気予報に一喜一憂していてもどうにもならない。雨が降ったら雨を楽しめば良い。参加者全員がこんな気持ちでいたかどうかは別として天候の崩れは余りなさそうだ。				
猿橋のバス停で岩井さんを乗せ、2台に分乗した一行は、以前、頂を踏んだ山々の同定をしながら麦秋に染まった関東平野を一路越後に向かう。長い関越の初を抜けるとそこは越後。田植えが終わったばかりの早苗が太陽の光に映えている。上越の山々は麦秋と早苗を分けて風物詩を奏でてくれていた。				
交通渋滞に遭うこともなく予定していた時間より1時間早く音松荘に着く。早々に汗を流し後藤歌子さんの誕生日パーティとなる。料理もケーキも無い、持ち寄ったつまみと酒で、明日も早いと言うことで十分な時間も取れない山仲間の手荒い祝福であったが歌子さん大感激!!				
CLより明日の山行は7化"ン、ピョウ集行の指示があり好天を祈りつつ床に入る。				

第2日目(6/12)

浅草岳 冬の季節風により運ばれた湿った空気がぶつかり多量の雪をもたらす越後山脈南部に位置する山。

例年なら春遅くまで残雪があり、アゼン、ピッケルは欠かすことの出来ない用具だが今年は暖冬、特に持たなくても問題はないと思うがと前置きのあったCLの昨夜の指示、全員携行し、宿の主人の運転するマイクロバスで登山口に向かう

予定より少し遅れ、R250 六十里越の初めの登山口を出発。

快晴とはいかないが梅雨の時期としてはマアママの天気。

初めから急登が続く。六十里越の初めの上えにでる。更に勾配はきつくなる。振り返るとすぐ後ろに毛猛の山々が、眼下に田子倉湖が見える。位置的にその奥に駒ヶ岳が望めるはずだが霞んでよく見えない。行くと左手には荒々しい肌を見せる裸山、そして春を迎え緑を増した樹々、目に入るもの全てが急登の疲れをいやしてくれる。

登山道は電波塔が建つ地点に達す。前方左には明日登る守門岳が右手には左右に均整がとれ前面に深く谷を刻んだ浅草岳が鬼が面山の岩壁越しに望むことができる。女性的な山と言われるがむしろキリッとした山に見える。道は平坦になり樹林の中を進む。途中で吹峠への道を分ける。指導標が建っているがこちらからは鬼が面山の文字が見えずそのまま直進しそうだ。確認をして右に折れ尾根道に出る。やがて残雪に覆われた斜面に出る。空は青空が拡がり雪面に影を映す。一段と展望が良くなる。この斜面を越えるといよいよ鬼が面山縦走の始まる南岳。東斜面はスパッと切れ落ちた断崖である。登山道には転落、滑落注意の看板が見受けられる。CLは経験の多い人を少ない人に付けマンツーマンのフォローを指示。更に気合いを入れ安全登山を呼びかける。コースはこの断崖の縁に沿ったアップダウンが続く。こんな断崖に沿いシラネアオイが顔をだし歓声が上がる。この時断崖が突き出した下で休憩をとる不審な3人の男性に会う。この3人何やら盗掘を始めたようだった。我々を歩き過ぎ行動を起こしたようだ。この季節は山菜取りが多いと聞かぬが山菜取りとは思えない。高山植物の盗掘か?

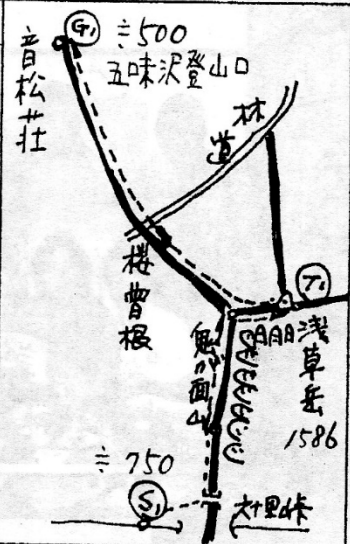
北岳を過ぎたところで昨年同じ時期にこの山で遭難した山登歩の鈴木さんの慰霊を行い安全登山を心に誓い前岳への最後の急登に入る。前岳を越えると雪田が広がりその先に浅草岳の頂が見える。頂上直下の草原は休憩場所として適しているが木道の周辺まで入り込み高山植物の上にシートを広げている人達が見受けられたが戴けない行為。

頂上は南方直下に田子倉湖、北西の方向に明日登る守門岳を望み素晴らしい展望台。我々は此处で予定の1時間遅れの昼となる。加藤さんが此处まで何かおかしいと言いつつ運びあげた重さ7kgのスイカ、暑さで傷んでしまい残念ながら口にすることができず全員がっかりしたが一番痛手だったのは持ち上げた加藤さん。本当にお疲れさんでした。

この頂上周辺にも咲き乱れる高山植物が疲れた体を癒してくれた。

時間がくれば去りがたい頂上も後にしなくてはならない。惜しみつつ帰路に着く。来た道を前岳迄戻り桜曾根と呼ばれる尾根を五味沢登山口に向け下る。振り返ると浅草岳が南側から見た姿とは全然趣を異にするたおやかな女性的な姿を見せてくれている。前方には守門岳明日の好天を祈りながら下る下る。途中林道と交差、此处は桜曾根の登山口。バテバテの人が居ると言うことで宿に救援を要請するもご主人が留守。あきらめきれないのを振り切り更に下る。

所要時間3時間の長い下りは冷えたビールの出迎えで終わる。





(上) 目目と華
 年の冬 留草着
 園やむらさき雪の
 手から香風
 出来た用具が
 のあふる雪前ふら
 入るす神聖
 喜しよも安正
 けりなはる神財
 けあふれぬ
 りるさうて
 るさ見や神官



目々
 けさ依盤七活
 けく言と山が
 けき板の山林
 新なるまじ
 け面言ひな加
 け面なるま加
 ける九の角受
 け全果け入か
 け民の人も雪
 けまけし
 け本
 け全



(上) 9/11 の日は
 ウルルの?オ
 誕生日だった
 (中) きれいな雪溪
 をゆく
 (下) 昨年ニニ遭難
 した鈴木ス子
 さんに追悼



(上) 左上が浅草
岳、直下の
雪渓にて

(中) 今年も7Kg
のスイカを上
げたカトー
だいたが...

(下) 快晴の頂
上にて

山名	守門岳 (1,537m)	報告者	池田元治
この山のセールスポイント	初夏の上越。会いたい花に会える さァ〜出掛けよう！！		
6月13日(日) 天候(晴れ) コース及タイム	発5:00⇒大原スキー場登山口5:30〜守門岳頂上8:10/9:10 ~猿倉橋下山口 11:10 ⇒守門温泉11:30/13:20 ⇒関越道⇒中央高速⇒裾野市役所20:00 着		
標高差	△S放牧場≒600 ~T守門岳1537=937m	体力度	1・2・③・4・5・6
	▼T守門岳1537~G猿倉橋 480=≒1057	技術度	1・2・3・④・5・6
CL	後藤隆徳 52	360度の展望と雪渓がい。今度はスキ	展望度 1・2・3・4・5・⑥
シフネアオイ隊	加藤秀子 50	ヒメサユリの花の色がとても美しかった	
	佐野雅道 67	越後の山は大きい。よく歩いたもんだ	
	勝又比江 52	仲間の励ましで登れた。有難う!!	
	来生博子 50	今年の夏も初めての花に出会えた	
	小田知典 50	守門岳、我町に欲しい山	
SL	岩井友子 46	雪渓歩きが楽しかった	
	大根田禰 62	雪渓歩きは気持ち良かった	
	高岡 八代 61	雪よし。花よし	
	池田元治 60	故郷の山は親しみがわく	
	後藤歌子 55	雪渓を初めて歩いたが楽しかった	
ミズバシヨウ隊	山本正昭 50	水芭蕉が咲いていた	
	御宿さよ 54	雪渓歩きがとても楽しかった	
一般	土屋弥生 56	ホントーに楽しかった	
3日	<p>今日は山行2日目。守門岳を狙う。朝食は宿の手作り弁当を食べる。会長と山本は車2台回送の為、下山口の猿倉橋へ一足早く宿を出発する。残り12名は民宿のマイクロバスで宿を後にし、登山口大原スキー場へ出発。途中、会長と山本がバスに乗り込む。大原スキー場を通り抜けると守門岳登山口だ。</p> <p>会長挨拶、注意事項、後藤歌の指導でストレッチを済ませ登山開始。放牧場の木道を歩く。直ぐに急登の山道に入る。快晴に恵まれ、夏本番の陽気である。根の階段、両手を使っての苦闘が続く。昨日のビールも汗に変わって流れ落ちる。小さく開けた峠に出た。</p> <p>前方は守門岳の山頂が見えた。右遠方には、昨日登った浅草岳が堂々とした姿が印象的。少し歩きやすい山道になるが、足元は危険な箇所が随所にある。注意の掛け声が聞える。アップダウンを繰り返すと雪渓に入る。雪道の左にはカタクリが豊富に咲いていた。昨日お花に沢山出会えた為か、皆さん感動がいまいちだった。</p> <p>雪渓を30分程度歩くと、尾根が開け山頂が目前となる。ヒメジャガが多い。ひと登りで山頂着。佐野が雪でビールを急速冷凍して全員で乾杯！ 360度の展望。点々とある雪渓と新緑の調和がとてもよい。頂上で会った新発田に、三島から単身赴任の方と一緒に</p>		

記念撮影を済ませ下山とする。

少し下ると『青雲岳』湿地帯に出会う。此処には水芭蕉が咲いていた。急な下り道は慎重に下る。登りの登山者と沢山出会う。今日は地元、守門村の《山開き》という。長靴を履いた人は《山菜とり》と見受けられる。太く立派なブナの森を通り、タムシバが咲く尾根を通り、猿倉橋下山口に無事到着。車に乗り守門温泉に直行。汗を流し、昼食を済ませ帰路に着く。

大月・猿橋バス停で岩井さんとサヨナラする。予定通り裾野市役所に到着。運転手及び皆さん3日間の山行御苦労様でした。

自然の記述

1. 小鳥の鳴き声が常に聞こえていた。
2. 雪渓と新緑の調和良し。



三島の方をまじえて頂上で記念撮影した
皆さん充実の2日間にマンゾ〜7



不きま宿き...
 (中)
 吉山登の...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

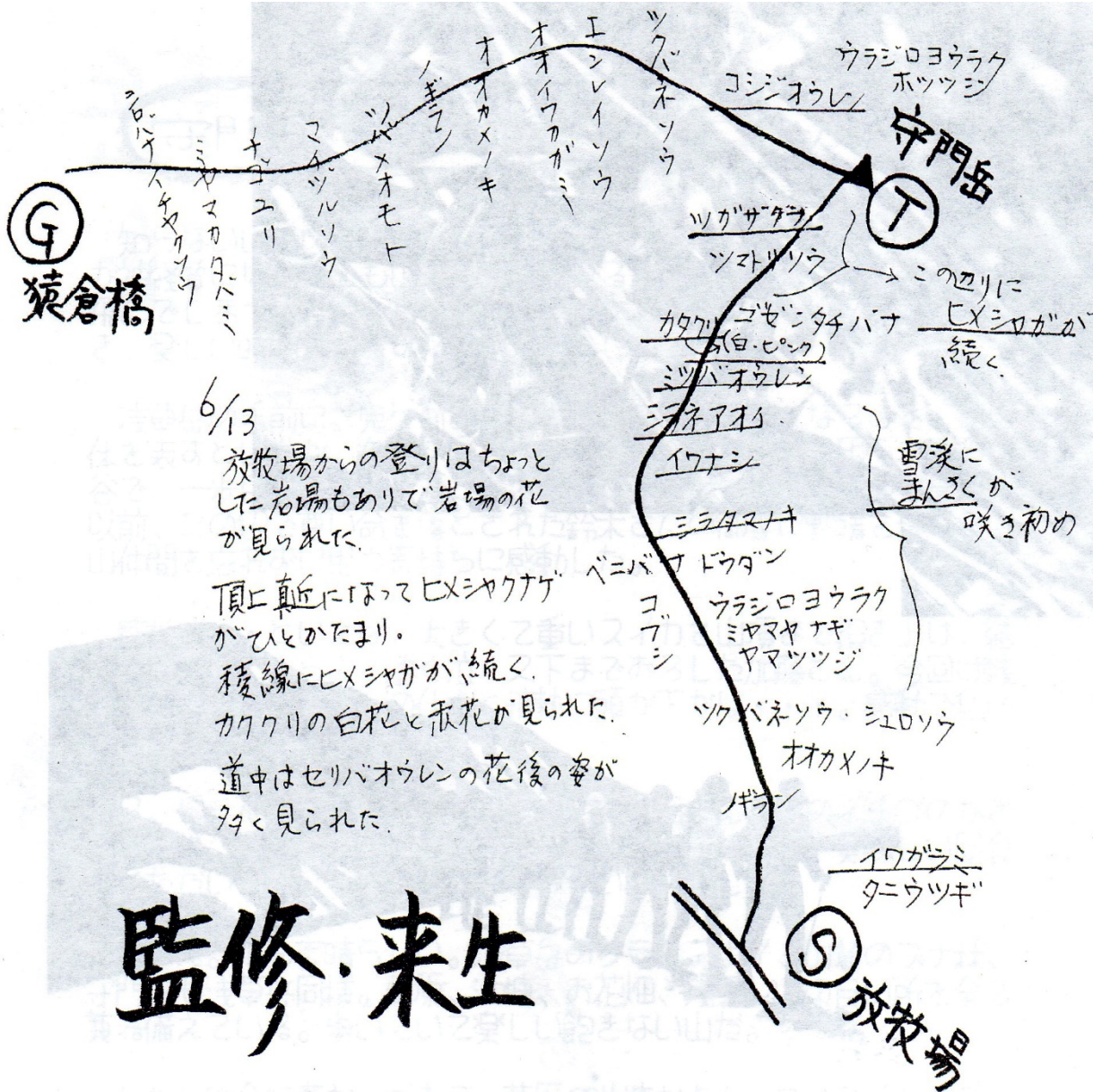
(上) 十日町おだまき山の会の羽鳥夫妻が遊びに来てくれた
 (中) 昨日の浅草岳をバックにのぼる
 (下) 大根田製氷のイチゴゼンがうまい!



草岳
守内岳 (P)
残雪



(上) 浅草岳の
カクツリ
(中) 守内岳を下る
(下) 残雪豊かな
守内岳



6/13
 放牧場からの登りはちよつとした岩場もありで、岩場の花が見られた。
 頂上直近にはまってヒメシラクナゲがひとかたまり。
 稜線にヒメシヤカが、続く。
 カククリの白花と赤花が見られた。
 道中はセリバオウレンの花後の姿が多く見られた。

監修・来生

カジワラメンバーズ特典

- ▲メンバーズ特別割引価格にてぐ〜っと、お〜とく。
- ▲山の店カジワラの企画する教室やスクール、お店のセールなどを八割半でご案内致します。
- ▲メンバー優先のセールも、定期的に開催します。
- ▲その他メンバーの方だけを対象にした企画も行います。

メンバーズになるには.....
 ご来店いただき、ご住所・お名前・お電話番号を教えてください。その場でメンバーズカードを発行させていただきます。

山とワラ 言えはカジワラ

専用駐車場有り。

お車でお気軽にお越し下さい。

山の店 カジワラ

株式会社
 静岡市麻生3-1-20サンパレス麻生102
 TEL054-255-7552 営業時間11:00~20:30

トロピカル風 中華三昧

大龍

三島市南二日町7-4
 TEL (0559) 75-7989 (代) 営業時間 11時30分~夜10時 (ラストオーダーは夜9時まで)

三島・二日町駅より徒歩1分

御法要等50〜100名様より100名様までご予約承ります。

定休日 毎月曜日 但し祭日は営業いたします。

守門岳・浅草岳山行に参加して

知らない山への登山は、期待と緊張が入り混じって、いつも気持ちか神経質になる。でも山仲間の顔を見ると、そんな事は何処かへ吹き飛んでしまう。今回も宿でお酒を酌み交わしながら、山の話や花が咲き、楽しい時間を共有する喜びをかみしめる。

浅草岳の手前に、鬼ヶ面山という名前の山がある。なるほど、名は体を表すというが、名前の通り東壁は雪崩によって削り取られ、深い谷で、一步足元を間違えると奈落の底へ落ちてしまう程のやせ屋根だ。以前、この辺で尊い命を落とされた鈴木さんの御霊に黙祷を捧げる。山仲間を忘れずに思う気持ちに感動した。

感動・・・といえ、大きくて重いスイカを山頂まで担ぎ上げ、結果傷んで口に入らず、泣く泣く又下までおろした加藤さん。今回は残念でしたが、加藤さんの体力と情熱に頭が下がり・・・感動の私の胸がいっぱいになった。

又、ビールを雪渓で冷やして乾杯！大根田さん特製のイチゴのかき氷、皆さん自前のあかお、果物に舌鼓みを打ちながら、美味しい昼食をいただいた。これが花よりダンゴというのかしら？

いいえ。花も素晴らしい。浅草岳のシラネアオイ、山麓のフナ林、守門岳も浅草岳同様。草原、池塘、お花畑、残雪、山の良い所を全て兼ね備えている。歩いていて楽しい飽きない山だ。

しかし残念な事が一つある。草原の池塘が点在している所がある。そこはミニ尾瀬といった感じの湿地帯。木道は敷かれているものの、ロープでの規制はない。しかし、程よく平地で座れそうな場所に、当り前のようにビニールシートを敷き、お弁当を食べている登山者がいる。その下には次代に受け継ぐ小さな命があるのに・・・言われなければおからないのかなア〜。やっぱり、立ち札や規制ロープを設置しなければ駄目なのかと思うと残念。

それだけでなくゴミ、トイレ問題が問われている昨今、人間も自然の一部。動物、植物皆の共有であるおの山（自然全部）。次代の残していく義務と責任を感じた瞬間だった。

しかし、裾野レイホーの会長始め会員の皆さんの、山を思う心、行動、一つ一つが励みになった二泊三日の上越山行でした。

By 甲府支部 岩井友子



(上) 高山植
のて女
ヒメサユ

(中) 女神は
シラネアオイ

(下) 可憐
キクザキ
キク



ひささ
ホウシ菜
と獲
各15分
②



越後の花たち